

# やすらぎ

平成26年10月発行



医療法人社団 芙蓉会  
ふよう病院  
芙蓉ミオ・ファミリア町田  
グループホームあおぞら  
デイサービス ふれあいルーム  
千葉芙蓉病院  
きやらの樹ケアセンター

ふよう病院

## ふよう病院 敬老祭り

### ・ 敬老まつり 1 日目 ・

秋晴れにも恵まれてふよう病院敬老祭りが9月13日(土)と14日(日)に開催されました。初日はふよう病院をより身近に知っていただくために、主に地域の方向けの内容となりました。模擬店では、ポップコーン、綿あめ、水ヨーヨー釣り、風船、お菓子抽選会、アイスキャンディ、飲み物などをご用意し、近隣で約350名の方々がお見えになりました。開始時間の10時を過ぎると、近隣のマンションにお住まいのご家族連れが手を繋ぎながら続々とお見えになりました。またお子さんの友達同士、自転車を漕ぎながら「ふよう病院に行こう」と楽しそうに敬老祭りの引換券付きチラシを持って来院する様子も微笑ましく感じました。用意した500本のアイスキャンディが足りなくなり、途中で買い足しに行くという嬉しい誤算もありました。

午後からは講演会を行い、第1部は「ふよう病院 院長によるふよう病院の紹介」と題して、主に①病院の種類やふよう病院に入院をする時の疾患、②終末期の意思表示の留意点や実例についての説明がありました。

栄養摂取方法によるメリット・デメリットの説明では、実際に使用しているチューブ類を持ち、一般の方にもわかりやすい解説だったのでないかと思えます。

自分の人生最期のケアについて希望を示すものを「リビングウィル」といい、日本では『事前指示書』と言われていきます。初めて聞いた方も多かった様子で、生き方や価値観などを伝えることの大切さを考えさせられる内容でした。

第2部はみずほ信託銀行 町田支店 南支店



長様による「知って得する相続・遺言のお話」と題して、相続の現状や基礎知識、遺言についてご説明がありました。

「仲の良い家族関係であっても相続をめぐってはトラブルになることが多く、それを防ぐためには遺言が一番重要である」というお話しが印象的でした。

2015年1月からの税制改正により、相続税の課税対象者が約1.4倍に拡大されるといわれておりますので、他人事ではないのかもしれないと思いました。

終日開催していた相談コーナーには、約10組の方がお見えになりました。

「療養型とは何かを知りたい!」という方や施設内のご見学を希望される方、退院後の施設を探されていた方などでのご相談がありました。

## ・ 敬老まつり 2 日目 ・

2 日目は、入院患者様やご利用者の方向けに毎年実施している記念写真と午後からは芸能スターパレードとして、ジャズシンガーのみずきさわさんによるコンサートが行われました。懐かしいジャズや患者様と一緒に童謡を歌ったり、ほのぼのとした雰囲気に包まれました。みずきさんが「皆さんと一緒に歌いましょう」とお誘いしたところ、グループホームのご入居の方が前に出て“歌手デビュー”をした場面もありました。



## 永年勤続表彰式

本年度（平成26年7月）の永年勤続表彰式が町田と千葉で行われ、5年、10年、20年、30年（新設）勤務職員に感謝状の授与がなされました。表彰された職員の皆様おめでとうございます。

感謝の意を表すとともに芙蓉会の発展にご尽力頂き有難うございます。今後もご活躍期待しています。

### ●町田

30年表彰者	3名	20年表彰者	1名
10年表彰者	15名	5年表彰者	30名

### ●千葉

30年表彰者	13名	20年表彰者	1名
10年表彰者	7名	5年表彰者	10名



## 7月院内職員研修会『接遇ロールプレイング』

発表者：薬局・リハビリテーション科

テーマ：

薬局 >> 窓口で薬を取りに来た職員に対する対応  
リハ科 >> 電話対応 計画書についての説明

内容：

- (1) 上記のテーマで場面設定しロールプレイング
- (2) グループワーク
- (3) 感想を発表

感想：

>> 薬局の発表に対して

\*薬を受け取りに行った時には自分の名前を名乗った方が良い。

\*薬を2人で取りに行くのはどうか？プライバシーの問題があるのでは？

\*薬剤師の方の説明が丁寧で良かった。

>> リハビリテーション科の発表に対して

\*電話でのやり取りは丁寧でわかりやすかった。

\*忙しい中すごく練習をされたのだろうと思いき感動しました。普段実践しているからできるのだと伝わりました。

\*ゆっくりと視線を合わせてやっていたのが良かった。

総評：

どのような場面に遭遇しても誰もが同じ態度、言葉掛けがスムーズにできるようになれる事が接遇です。全ての部署の職員ができるよう研修会を重ねていきます。



## 敬老会 & ミュージックケア

一昨年から好評だったミュージックケアとコラボレーションの敬老会を今年も開催いたしました。スタッフによる飾り付けは、紅白の鶴の折紙に寿の提灯でお祝いムードを盛り上げてくれました。音楽療法士によるミュージックケアは秋を感じる「もみじ」を輪唱は、タイミングよく入ることができ、きれいなハーモニーになりました。その後の「ふるさと」はハンドベルを使い演奏をしました。振るのが難しい方も叩くように鳴らしたりして参加されていました。敬老会では「卒寿」を迎えられた方が2名いらっしゃいましたので、スタッフより色紙とメッセージカードをプレゼントし、皆様にはメッセージカードで長寿のお祝いと日頃の感謝の気持ちをお伝えしました。敬老会ということでたくさん集まって頂き、大きな拍手で喜んで頂きました。



## ふよう病院 敬老祭り

ふよう病院で「敬老祭り」が9月13日、14日に開催されました。朝から爽やかな秋晴れとなり、多くの方が参加されました。13日は10時の

開催と同時に近所の方や保育園の子供たちで賑わいました。ご入居者の皆様は綿あめ・ポップコーン・アイス等の模擬店でお好きなものを選び、お祭り気分を楽しんでいるようでたくさんの笑顔が見られました。



## 暑い夏を乗り切る元気の源

毎日その日の昼食は、何を作って食べるか、みんなでお茶を飲みながら話し合いをしています。まずはメインを魚にするか？肉にするか？「肉！牛肉がいいね！」とお一人の方が提案され

ると、しゃぶしゃぶ、すき焼き、ハンバーグ…といった料理が出て、その中から1品に絞って決めています。牛肉を召し上がっている時の皆さんの箸の進み具合は、いつもと違います。もくもくと召し上がる方、自然と笑顔になっている方など。18名のご入居者は、牛肉パワーで今年の夏も元気に過ごすことができました。

## その他の活動のご紹介

裏庭で甘〜いぶどうが収穫できました。甘くなる秘訣を、中庭ボランティアさんに聞いてみました。虫が付かないようにぶどうに紙の袋を被せるだけとか…ボランティアさんの「思い」がぶどうを甘くしているんですね。



## 痛みも緩和！

いつもお世話になっている原町内会の盆踊りに参加させていただきました。聴き慣れた炭坑節や東京音頭の曲が流れると、皆さん笑顔になり輪の中で踊りました。いつも肩の痛みがあるご入居者も「私、好きなのよ」とニコニコ。好きなことで、痛みも緩和！！原町内会の皆さん、ありがとうございました。



8月・9月と沢山のレクリエーションを行いました。

### 抹茶ババロア作り



### パンケーキ作り



### ホットケーキ作り



### ピアノコンサート（盆踊り）

上妻恵里子さんによるピアノコンサートが行われ、今回は民謡もあり、さながら盆踊りのようでした。はっぴもお似合いですね。



現在、11月の作品展に向けて手芸等を制作中です。作業時間もお利用者の希望に合わせて、針を使った手芸等も行っています。男性ご利用者は木製のテッシュボックスを制作中です。



## 研修だより

### 1、褥瘡対策

褥瘡対策をテーマとした研修会を行いました。毎年2回実施し、患者様の褥瘡発生予防、早期治癒に向けて役立てています。

褥瘡（じょくそう）とは、寝たきりなどで体の一部が継続して圧迫されることにより、血のめぐりが悪くなって皮膚の色が悪くなったり、ただれて潰瘍ができてしまう状態です。一般に「床ずれ」とも言われています。

現在入院中の患者様は、大多数が寝たきりで、ご自分では体の向きを変えることができない方がほとんどです。手足が動かさない方も入院されております。

痩せて骨が出っ張っていたり、栄養状態が悪いとなおさら褥瘡になりやすくなります。高齢者はいくつもの病気をかかえていたり、合併症を起こすこともあり油断ができません。

介護職員は、日夜そうした患者様のお世話をしています。身体の向きを2～3時間ごとにかえ、皮膚の変化にも注意しています。

今回は、モルテン（エアマット業者）の方にご協力いただき、関節が硬くなり、手足が伸びない患者様の、体の向きの変え方やポイントを学びました。

ベッドと体のすきまを埋めることが重要で、実際患者様に行ってみたところ、「本当に気持ちいい」と、笑顔で証明してくれました。

ほんのちょっとした工夫で患者様が心地よく過ごせることを実感した、今後も活かしていきたい、という意見が聞かれました。

### 2、オムツ・パットの上手な使い方

ベッドに寝たままでトイレに行かれない患者様、間に合わなくてお困りの患者様など、排泄の問題は数知れず。介護の現場では毎日使用するものですが、ちょっと立ち止まってみました。

普段何気なく使っている紙オムツやパットですが、少し視線を変えるだけで、いつも以上に役立つことを再発見しました。王子ネピアの方にご協力いただき、わかりやすい講習を聞かせていただきました。パットのギャザーの使い方、あて方など、職員も再確認しました。これも、患者様の一日一日に活かされていきます。





## 納涼会

夕方はだいぶ涼しくなった8月22日。屋上にて恒例の夕涼みをしました。太鼓ボランティア



アの皆さんの力強い演奏やご利用者も交じっての盆踊り、最後は打上げ花火でお開きとなりました。食事サービス部から夕食とは別に軽食が出され、ビールとともに楽しんでいただきました。



## 敬老会

昨年は台風の上陸で中止となりました敬老会。今年は好天に恵まれ無事に実施することができました。演芸ボランティアの「どんぐり劇団」の公演で歌や踊りを楽しんでいただきました。その後の家族懇談会では多くのご家族にお越しいただき、看護副主任から『認知症について』の講座を行いました。また、1年間の行事を編集したビデオ上映では、涙を流して感動して下さるご家族もありました。これからも多くの皆様に喜んでいただける施設を目指してまいります。



# 「食べやすい食事づくり」研究

## 試作料理名 ぶどうのムース (20人分)

### 材料

100%果汁グレープジュース・・・600cc  
プレーンヨーグルト・・・240g  
砂糖・・・100g  
生クリーム・・・360cc  
ゼラチン・・・15g  
市販ぶどうゼリー・・・1P/C

### 作り方

- (1) 生クリームは固めに泡立てておき、冷蔵庫に入れておく。
- (2) 鍋にジュースと砂糖を入れて温める。砂糖が溶けたら火からおろし、水で戻したゼラチンを加えて、ボールに移す。
- (3) (2) を氷水につけて粗熱を取り、ヨーグルトを加えてよく混ぜる。
- (4) 氷水でよく冷やし、(1) の生クリームを加えて泡だて器でざっと混ぜ、ゴムべらに替えてしっかりと混ぜる。
- (5) 器に流し冷やし固める。ぶどうのゼリーを細かくクラッシュ状にして上にのせる。

### 工夫した点

ぶどうのムースは固くなり過ぎないようにゼラチンの量を調節しました。

上にのせるゼリーをクラッシュ状にすることによって違った食感を感じられるように工夫しました。

### 栄養士から一言

ぶどう果汁にはポリフェノールが多く含まれており、心臓病を引き起こす動脈硬化の原因となる悪玉コレステロールの酸化を阻害する効果があります。

ぶどうジュースだけでなく、様々な味のジュースで作っても良いと思います。

### 感想

さっぱりとしていて味が良く、見た目にも食欲をそそると思う／なめらかで患者様の飲み込みは大丈夫と思います／上に乗っているゼリーが少し固め／ゼリーとムースの違う食感が同時に食べられて良い。

